



福島地酒の底力。 風評被害なんかぶっとばせ！

原発事故の後遺症に関わらず、今年の全国新酒鑑評会で金賞受賞日本一に輝いた福島県。その福島地酒の底力を豪華な料理とともに体験する「ふくしま美酒体験」が、8月23日の夕べ、東京渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで開催され(会費費5千円)、約800名もの参加者が県内43蔵自慢の銘酒を堪能しました。安全・安心の福島の酒は、風評被害になんて負けないゾ！



舞台は若者の街・渋谷のシティホテル

蔵元と歓談のひと時



「目いっぱい楽しんでます」



定員(600人)オーバーで熱気の会場

会津出身の歌手2人も特別参加。福島応援オン・ステージ



越尾さくらさん



永峯恵さん

お楽しみ企画もふんだんに、高品質で安全な福島地酒をアピール

● 新城会長らが記者会見

パーティの開幕に先立って、県酒造組合の新城猪之吉会長や JA 関係者らが記者会見に臨み、福島地酒の「安心・安全」を訴えました。

この中で新城会長は「汚染水問題など引続き厳しい状況が続いているが、安全な米を使って、安心しておいしい酒を造ることが最大の風評被害対策。この春の新酒鑑評会で福島県は、出品 37 銘柄中、26 銘柄が金賞を受賞し、金賞獲得数全国 1 位の座に返り咲いた」と述べて、安全で高品質な福島地酒に対する理解と支援を求めました。



記者会見で福島の日本酒の安全性などを説明する関係者の皆さん。左から福島県酒造組合の渡部謙一副会長、新城会長、福島県東京事務所の飯塚俊二所長(佐藤知事代理)、JA 全農福島の猪股孝二米穀部長、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターの鈴木醸造・食品科長



▲ おいしそうな料理がズラリ並んで、いよいよパーティの開幕



▲ オープニングはもちろん福島地酒で乾杯。発声は東京福島県人会の砂子田会長「会場の元気を福島に届けよう！」



◀ 全国新酒鑑評会の金賞受賞酒も飲み放題



▲ 抽選会で 43 蔵の日本酒をゲット



▲ 「根拠のない風評なんて全く気にしてません」「福島のお酒を応援してあげたいと思って参加しました」



▲ 会場に花を添えた大河ドラマのキャラクター八重たんと、福島米 PR ガール・ライシーホワイト



▲ ノリノリのコンサートで会場はクライマックス

